

「ありがとう」と言うことを大切にしながら、農業を魅力ある仕事にしたい

10年後を考えて、農業へ転身

高校卒業後の進路を教えてください。

高校卒業後、家の内装に興味を持っていたので、インテリア専門学校で学びました。卒業後、就職活動もしていましたが、専門学校で出会った高島市内の工務店の方に声をかけていただき、就職しました。大工の知識は全く無かったのですが、仕事の中で木の刻み方や道具の使い方などを覚えていきました。

なぜ農業へ転身されたのですか？

21歳で、現在住んでいる今津の空き家で一人暮らしを始め、工務店で仕事を始めて10年が経った頃、地区内で農業をする



采野 哲くんが「一緒に農業をしないか」と声をかけてきました。采野くんは同い年で友人でもありました。ちょうどその頃に体を壊していたこともあって10年後も大工を続けていくのは難しいと感じ、農業経験が無いこと、給料、農業の将来性など、一年間考え、工務店を退社し、2014年にうねの農園で農業をしようと決めました。

植物の成長する姿とお客様の声がうれしい

主に生産されている作物を教えてください。

うねの農園では、約17町の水田でお米をつくっています。お米は高島の自然と人に優しい有機栽培や環境こだわり栽培を実践しています。冬には漬物用の赤カブの栽培をしています。采野くんは自分が加わることで家族経営から一歩踏み出して、経営規模の拡大と新しい作物の栽培に挑戦したいと思っていたそうです。実際に今は大豆、大麦、玉ねぎの生産に取組み始めました。

農業のやりがいや難しさはどのようにですか？

植物の成長していく姿を見ることに楽しさを感じていますが、同時に気候の変化で収量が変わるなど、難しさも感じます。直接販売しているお客さまからは喜んでいただける声が聞こえるのがうれしいですね。采野くんとは経営に関する話などもしており、こだわりを持って品質と美味しさを向上させながら、収益を増やし、雇用も増やせるようにしたいと話しています。

歳代の約20名が地区内の除雪作業をしようと特殊免許を取りました。市の除雪車が来るまで、高齢の方は家の外へ出ることも難しい状況です。自分達でできることを自分達でやろうと動いています。まだ独身ですが、今から自分自身や家族が、将来安心して暮らすために、どんな地域にするのか、自分達で考え、行動し、決定していくことが大事だと思っています。



初めから地域に溶け込めたのですか？

ここに住み始めて15年が経ちました。近所の方には、一人暮らしをしていることを気にかけていただきました。地区の川掃除や水路の補修、草刈りなどに積極的に参加したので、地区の人と顔がつながり、かわいがってもらいました。地域の祭りにも参加し、ここの暮らしを楽しんできたと思います。そんな中で、やってもらって当たり前でなく、感謝の気持ちを持つこと「ありがとう」と相手に言うことを大事にしています。

農業を魅力ある職業にしたい

農業をめざす若い人にメッセージをお願いします。

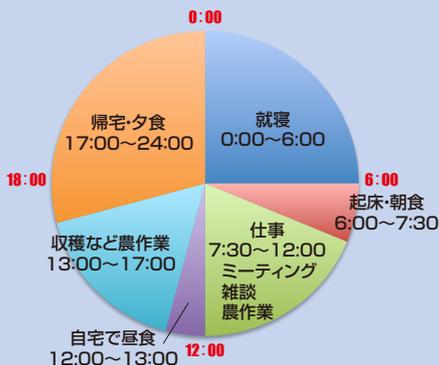
農業は伸びる分野だと感じています。おいしいもの、お客様に喜んでもらえるものを作るやりがいのある仕事です。どうすればいいものを作るか、研究を重ねて、努力することで、収益が伸びます。売り先の開拓、営業や情報発信など、難しさはありますが、魅力ある、食べていける職業にしたいと思っています。

DATA

●プロフィール&高島らしさとは？

1979年京都市生まれ。2014年、うねの農園で農業を始める。高島での暮らしの中で、人のつながりができました。同年代の友人もでき、休日は友人と京都へ遊びに行っています。

●1日のタイムスケジュール



「ありがとう」と言うことを大事にしたい

地区の活動にも積極的に関わっておられるそうですね。

高齢化が進むこの地区で、数年前から采野くんや自分などの同年代が集まり、青年部を再結成し、消防ポンプの管理や操作の練習をしています。今年は避難訓練を実施し、高齢の方など非常時にサポートが必要な方の把握をしました。また、30~60

うねの農園

〒520-1652 高島市今津町福岡812

TEL&FAX:0740-22-2176 HP: <http://www.uneno.net/>